



ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2011年度 Vol.2

‘生きもの’って 知れば知るほどおもしろい

夏休みこども環境講座～生きもの博士になろう～
NPO法人生態教育センター 村松亜希子氏
(平成23年7月/品川区環境情報活動センター)を参考

●五感(ここでは

「見る」と「聞く」)を使って

木や葉っぱに隠れている虫がいますが、かれらは木や葉っぱと同じような色(保護色)をして敵から身を守っています。例えば木の皮と同じような色をしたセミがいます。右の写真のように見分けが付きません。



「あの鳴く木を本国に持ち帰りたい」と言った外国人がいたと

いう逸話もあり

ふ～ん
♪

ます。また草むらにいたバッタの体が緑色をしているのは、みなさんよく知っていますね。

夏の虫と言えばセミですが、わかりますかセミの名前と鳴き声。



アブラゼミ



ミンミンゼミ



クマゼミ

セミの名前は、その鳴き声からつけられているものがあります。「ジージリジリ…」はアブラゼミ、油であげものをしてしているような鳴き声です。「ミンミンミン…」はミンミンゼミ。「シャアシャア…」はクマゼミです。西日本でおなじみのクマゼミは、近年分布が北へ拡大していることが話題になっています。セミの幼虫は長い間土の中で生活し、その後小さな穴から地上に出てきて、木の幹などに登って脱皮し、成虫になります。

●私たちの近くにあるこんな不思議

Q. 「しながわ中央公園には、にぎりこぶしより大きいまつぼっくりがなる木がある」ホント？



A. 「○」しながわ中央公園にはヒマラヤスギがありますが、にぎりこぶしより大きなまつぼっくりがなる木です。

Q. 「木にはオス・メスがいない」これホント？

A. 「×」例えばイチョウにはオスの木、メスの木があります。なお、ギンナンはメスの木にしかありません。

品川区役所前にイチョウ並木がありますが、その中にメスの木があり、時期によって特有のにおいがします。12月には黄金色のイチョウの葉が私たちの目を楽しませてくれるでしょう。

いきものみつけ <http://www.mikke.go.jp/>

環境省が実施する市民参加の生きもの調査です。

セミの鳴き声やセミの鳴きまねが聞けるコンテンツもあります。

このURLからセミの鳴き声や、つるの剛士さんのセミの鳴きまねを聞くことができます。

打ち水大作戦 しながわ2011

7/23(土)~8/23(火)

●7月23日(土)戸越公園駅前南口商店街(今年のメイン会場)で「打ち水大作戦・しながわ2011」が開催されました。早くから集まった子どもたちは、今や遅しと打ち水開始の「かけ声」を待ち、午後3



時、カウントダウンの後「しながわを涼しくしよう!」のかけ声とともに一斉に打ち水が始まりました。

●7月23日(土)西大井広場公園において、二葉中央商店会主催の第31回品川納涼祭の開催に先だって行われました。打ち水が終わった後「みんな、こ

夏の風物詩「打ち水」は江戸の昔から行われている暑い夏に涼をとる暮らしの知恵です。打ち水に水道水は使いません。雨水やお風呂の残り湯など再利用水を使用しました。



れからも雨水やお風呂の残り湯を使って水をまきましよう。約束してくれますか!」の言葉に、手を挙げて答えていました。

●8月6日(土)平和坂通り商店街でも打ち水が行われました。打ち水が終わったとき「少し涼しくなったような感じがするね」といった声が、あちらこちらから聞こえてきました。



長い夏を彩る花「サルスベリ」

品川区内の公園では、しながわ区民公園、戸越公園、大井鹿島公園などで見られます

暑い陽射しの中に、いつ見ても花がある木。名前には知っている、けれどいつも遠くから見るだけ、どれが一つの花なの?今回は「サルスベリ」をご紹介します。

サルスベリは中国南部原産の落葉樹で江戸時代に渡来しました。「サルスベリ」という名は、猿でさえも滑ってしまいそうな、すべすべした幹に由来します。開花時期の長さは別名になっています。「百日紅」は「ヒャクジツコウ」と読み、100日も咲く紅い花という意味です。「ヒャクニチ・クレナイ」と発音すると、花が長い間きれいな色を保って咲いていることがわかります。



に放射状に広がります。この1つの花がたくさん集まって房状に見えます。一つの花がずっと咲いているわけではなく、

花一輪は花弁(花びら)6枚、一枚はフリルのように全体が縮れています。花弁のもとのほうは軸のように細くなり、めしべを中心



つぼみと葉っぱ

次々と花を咲かせるのです。「散れば咲き 散れば咲きして 百日紅(さるすべり)」(千代女)花色は写真のものが主流ですが、濃淡があり、また紫や白もあります。

近頃植栽に使われるようになった「シマサルスベリ」は白い花をつけます。琉球列島の固有種で、木はかなり高くなりますが、花はサルスベリより小型です。東南アジアに分布する「オオバナサルスベリ」には薬効があり、バナバ茶(フィリピン)として利用されています。

またほかにも別名「サルスベリ」と呼ばれる木があります。理由はサルスベリ同様すべすべした幹にあり、「リョウブ」「ヒメシャラ」が該当します。

花ばかりでなく、葉っぱは向き合っていたり(対生)互い違いに(互生)出て一括りにできないのが、この植物のおもしろさです。遠くから眺めるだけでなく、近くからも観察してみましょう。



戸越公園のサルスベリ

(環境カウンセラー 倉田智子氏提供)



環境記者活躍中

環境記者の中西さんと新居崎さんから、西中三丁目(西中延三丁目)町会で行っている資源回収事業について紹介していただきました。

私たちの町会では月に3回、新聞、雑誌、ダンボール、アルミ缶などの資源回収を行っています。

朝早くから行っており、町会の皆さんの協力によって成り立っています。

「回収へのご協力に感謝」



環境記者の徳島さんは「品川・大井町 みどりと花を守る会」という団体を発足させて、鹿島庚塚児童遊園の清掃ボランティア活動をしています。

月に2回程度の清掃活動ですが、季節ごとの落ち葉や日常ゴミの収集、煙草の吸殻等が実施する度、大きなゴミ袋3袋程度回収されています。

今後は参加メンバーも増員して、もう少し大きなイベント等も実施したいと考えているとのこと。

【清掃前】

【清掃後】



皆さまの地域で行われている環境活動についてのご紹介をお待ちしています。
ご連絡は品川区環境情報活動センター (TEL 03-5742-6533) まで

環境問題は一人ひとりの実践から

今井学院 男の料理

(平成22年度しながわ環境賞受賞)

食生活において環境問題を考える教育を行い、かつ実際の料理に活かしている今井学院さん(品川区東五反田)の「今井学院男の料理」を訪問しました。

料理の前の買い物ですが、食材のストック確認と計画的な買い物、資源回収への協力は基本です。またできるだけ旬の食材を選ぶことは、美味しさ、栄養、CO2削減などのためにも良いことです。



さて今日の環境にやさしい料理メニューは「変り柳川鍋」(鶏むね肉、ごぼう、もめん豆腐ほか)、「ピーマンともやしの胡麻醤油かけ」、「ちくわと卵の吸い物」です。環境にやさしい工夫をしましょう。

豆腐が残ったときにはできるだけ水分を切って冷凍しておくことで高野豆腐になります。残ったもやしは豆腐の空容器に入れて冷凍庫に保管します。ただし2~3日で使い切りましょう。食べきれないだけの量を

器に盛り、食べ残さないようにし、生ごみの減量に努めます。また使わないで残った食材は冷蔵、冷凍、あるいは保存食(漬物など)にしましょう。ごみは小さく切って嵩を減らし、絞って水分を少なくします。冷凍庫活用のコツは、残ったものを適量に分け、それぞれを少し離して袋に入れておくことです。そうしておくことで取り出しやすいですね。バナナは残ることがありますね。こんなときは皮をむいて切り、冷凍庫に入れておくとシャーベットになります。

「この話は何度も聞いている環境を考えた料理のコツです」と言う今井先生ですが、生徒のみなさんの耳にはタコが出来ているようです。このほか環境にやさしい料理についてのお話はたくさんありましたが、ここには書ききれません。



男の料理教室でしたが、中には包丁さばきも堂に入った「ベテラン」に属するみなさんの料理に取り組む姿に、元気がみなぎっているのを感じました。

品川区環境情報活動センター 秋の講座ご案内

●鉢植えのクロッカスを楽しみましょう (一般)

常緑で冬場も楽しめるシルバーリーフのコットンラベンダーとクロッカスの寄せ植えをします。

日時／10月1日(土)14時～16時

講師／奥 峰子 (園芸文化協会理事)

●自然エネルギー「空気」を使って実験しよう (小学生)

空気のでんごんがでるか、ホバークラフトづくりと実験を通して学びます。

ペットボトルや段ボールなどを使った家庭のできるリサイクル工作もします。

日時／10月2日(日)14時～16時

講師／小島陽子 (学研科学インストラクター)



●牛乳パックで「はがき」を作ろう (一般)



牛乳パックの原料である森林資源や紙パックのリサイクルの仕組みを学び、手すきのはがき作りを体験します。

日時／10月7日(金)13時半～16時

講師／全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

●秋の寄せ植え (一般)

秋を彩る野菊とススキの寄せ植えです。11月初旬に開花予定のお花を使い、講習会後も製作品の観賞を楽しんでいただきます。

日時／10月28日(金)13時半～15時半

講師／林秋江 (秋草会会員)

●実験とゲームで楽しみながら学ぶ「くらしと水」 (小学生)

私たちが意外と知らない水について「へ～！そうなんだ」を勉強してもらいます。

汚れた水をきれいにする実験を全員が行います。

日時／11月6日(日)14時～16時

講師／岡本正義 (日本環境協会子ども環境相談室)



●ハーブと草花のコンテナガーデン (一般)

香りを楽しめるハーブを入れた可愛いコンテナガーデンを作ります。

日時／11月18日(金)14時～16時

講師／原 由紀子 (生活園芸家)

●富士山の大自然と私たち (一般)

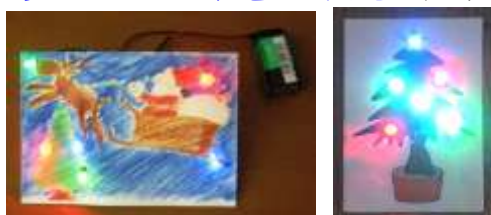


富士山とそれを取り巻く環境についての話です。美しい富士山の環境と自然を守りましょう。

日時／11月27日(日)14時～16時

講師／外川英樹 (自然・動物写真家)

●エコなLEDを使ってクリスマスカードをつくろう (小学生)



LEDを使ってわたしへのクリスマスカードをつくってきましょう。

日時／12月4日(日)14時～16時

講師／水野さゆり (子供向けワークショップ「イモ」代表)

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわECOだより2011年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成23年9月22日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています